

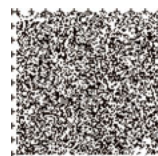
せい か ちょう だい じ し ょ う が い し や き ほ ん け い か く
精 華 町 第 3 次 障 害 者 基 本 計 画
せい か ちょう だい き し ょ う が い ふ く し け い か く せい か ちょう だい き し ょ う が い じ ふ く し け い か く
精 華 町 第 7 期 障 害 福 祉 計 画 ・ 精 華 町 第 3 期 障 害 児 福 祉 計 画

わ か り や す い 版

だ れ と の こ
誰 も 取 り 残 さ れ な い
ち ょ う み ん じ ぶ ん
す べ て の 町 民 が 自 分 ら し く 生 活 し
か が や せ い か ち ょ う
輝 け る ま ち 精 華 町



れ い わ ね ん が つ
令 和 6 (2 0 2 4) 年 3 月
せ い か ち ょ う
精 華 町



しょうがいしゃきほんけいかく しょうがい じ ふくけいかく 障害者基本計画・障害(児)福祉計画とは？

しょうがいしゃきほんけいかく ちょう じゅうみん かんけいきかん ちから
障害者基本計画は、町が住民や関係機関と力をあわ
せて、しょうがい ひと こ かぞく しえん
障害のある人や子ども、その家族を支援するため
に何をしていくのかを示したものです。

しょうがい じ ふくしけいかく しょうがいふくし ひつようりよう
障害(児)福祉計画は、障害福祉サービスの必要量を
み こ ていきようたいせい かく ほ はか
見込み、その提供体制の確保を図るためのものです。

だれのための計画？

しょうがい ひと こ
障害のある人や子ども、そ
かぞく しえん ひつよう
の家族など支援を必要とする
ひと じゅうみんぜんいん
人、そして住民全員のための
けいかく
計画です。

きほんりねん 基本理念



だれ と の こ 誰も取り残 ちやうみん じぶん すべての町民が自分らしく

だれ じぶん せいかつ しょうがい う む ひと
誰もが自分らしく生活できるように、障害の有無にかかわらずすべての人が
ほんけいかく しょうがい う む ちょうみん
本計画では、障害の有無にかかわらず、すべての町民が
ちいき なか ささ かがや
地域の中で支えあいながら輝

4つの かんが かつ 考え方



● かんぜんさんか びやうどう 完全参加と平等

せいにかちょう しょうがい ひと しゃかいさんか そくしん
精華町らしい障害のある人の社会参加の促進

● エンパワメント

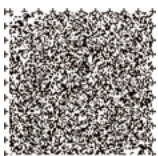
しょうがい ひと かつどう かつせい さんか
障害のある人の活動の活性化とまちづくりへの参加

● せいかつかんきよう 生活環境におけるバリアフリー

ちやうせん
ノーマライゼーションへの挑戦

● リハビリテーション

しゅうへんしちやうそん れんけい せいかつ じりつ しえん
周辺市町村との連携による生活や自立の支援



計画の期間

「精華町第3次障害者基本計画」の計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間です。「精華町第7期障害福祉計画・精華町第3期障害児福祉計画」は令和6年度から令和8年度までの3年間です。

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	精華町第3次障害者基本計画						
	精華町第7期 障害福祉計画		精華町第8期 障害福祉計画				
	精華町第3期 障害児福祉計画		精華町第4期 障害児福祉計画				

されない

生活し輝けるまち精華町

お互いを尊重しあい、活躍できる地域共生社会の実現が望まれています。

自分らしい生活を送れるよう、人格や個性が尊重され、
けるまちづくりを目指します。

3つの
原則



基本的な人権の
尊重と差別の禁止

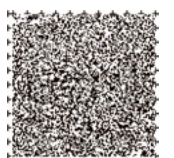
精華町では、4つの考え方のもとに障害福祉施策を実施しており、本計画では、それを踏まえた3つの原則を定め、施策を推進します！



自己決定と
自己選択の
尊重



地域共生社会
づくり



みと 認めあい、 ささ 支えあい、 ひと その人らしく はったつ 発達・ せいちょう 成長し、 かがや 輝ける

- (1) ひとりひとりを大切にする地域づくり
- (2) 支援が必要な子どもへの早期対応
- (3) 保育・教育、放課後対策の充実

／ せいちょう 精華町ではこんなことに取り組みます！ ／



イベントでの交流や広報誌での啓発を通して、障害のある人に対する理解を促進することで、差別の解消に努めます。



子どもの発達課題や障害に早期に気づき、適切な療育につなぐとともに、家庭への支援も行います。



障害のある人がいる世帯を地域の中で見守ることができるよう、民生児童委員や、地域住民とのネットワークを構築します。



就学相談・教育相談による、就学前から卒業後まで一貫した支援を行います。



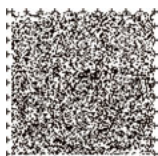
妊娠期から子育て期まで、母子の健康と子どもの発達にかかる一貫した相談支援を行います。



障害特性や個性を尊重し、その人らしい将来の自立を見据えた進路選択を支援します。

詳しく知りたい方は計画書本編をご覧ください。

「精華町第3次障害者基本計画 精華町第7期障害福祉計画・精華町第3期障害児福祉計画」(P.46～51)に掲載しています。



誰もが安心して 毎日の生活を送れる

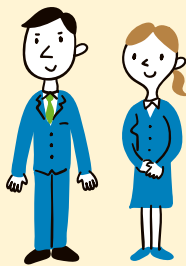
(4) 相談支援の充実

(5) 日常生活の支援

(6) 安心・安全の確保

(7) ユニバーサルなまちづくり

精華町ではこんなことに取り組みます！



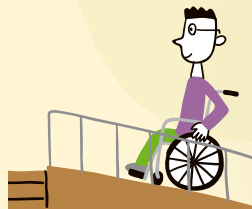
各関係機関と連携し、
合理的配慮の実施やワ
ンストップの情報提供・
相談対応を行うよう努め
ます。



各自治会や自主防災
組織で災害時要配慮者
を把握できるように、
避難行動要支援者の台
帳整備を行います。



町の広報誌やホームページ
等のバリアフリー化、ICT
の活用による伝達手段の
多様化など、誰もがわかりや
すい情報発信を行います。



障害のある人が住み慣
れた地域で暮らし続けら
れるよう、バリアフリー
や障害特性に応じた
環境の整備に努めます。



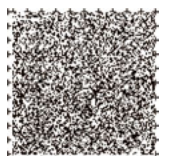
防災行政無線、文字放送、
音声告知放送、メール
配信等を活用した災害
情報伝達システムの拡充
を図ります。



障害福祉サービスを適切
に利用できる体制を保ち、
さらに利用しやすくなるよ
う、量の確保だけでなく、
質の向上に努めます。

詳しく知りたい方は計画書本編をご覧ください。

「精華町第3次障害者基本計画 精華町第7期障害福祉計画・精華町第3期障害児
福祉計画」(P.52～58)に掲載しています。



誰もが輝ける 地域共生社会が実現できる

(8) 地域福祉を担う人づくり

(9) 社会参加・就労の促進

精華町ではこんなことに取り組みます！



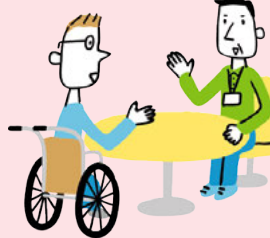
住民一人ひとりが主体的・積極的に地域について考えることができるよう、学校教育や社会教育等を通じた福祉教育を行います。



障害のある人を対象としたスポーツ・レクリエーション活動を振興するため、体験の機会や情報発信に努めます。



訪問活動・相談・付き添い・点訳・手話通訳・要約筆記などのボランティア養成講座を充実させ、人材の育成を図ります。



職業的自立を促すための早期からの取組として、進路指導、職業体験などを行い、本人の特性を踏まえた就労支援を行います。



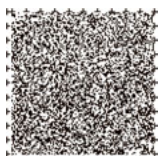
ボランティア活動の活性化のために、活動場所の提供や活動団体の連携促進、地域とのつなぎなどを行います。



企業への就職を希望する人に、必要な知識及び能力の向上のための訓練を行う就労移行支援事業の活用を促進します。

詳しく知りたい方は計画書本編をご覧ください。

「精華町第3次障害者基本計画 精華町第7期障害福祉計画・精華町第3期障害児福祉計画」(P.59～61)に掲載しています。





当事者の声

アンケート調査やヒアリング調査の結果から、当事者の声を集めました。あなたの周りには障害のある人が普段どんなことを思い、感じながら生活しているのかを知って、周りの人や環境がどのようになれば良いのか、考えるきっかけにしてみてください。

いろんなことを相談したいが、どこまでできるのか分からない

電話の受け答えができない

さまざまな分野で働きたい

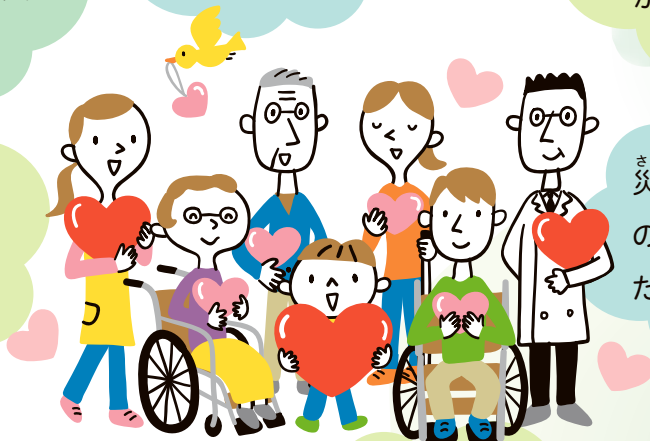
駅にエレベーターやスロープが欲しい

難聴のため、通常の会話が聞きとりづらく、一人だと孤立してしまう

運動できる場所が欲しいです

内部障害は他の人から分かりにくいので、どこが悪いのかと言われる

障害とは何なのか、身近な問題であり、可哀想という目で見ず自分事として考えてみてほしい



災害時に必要な装具類の持ち出しができなかった場合や品不足が心配

障害のない人と一緒に勉強したい

もっと町の情報がほしい、どんなサービスがあるか分からない

誰かが来ても玄関チャイムの音が聞こえないので、分からない

車いすでは数センチの段差でも超えられないことがあります

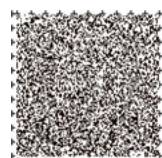
病院等で名前を呼ばれても、聞こえないので返事ができない

災害時、避難先で迷惑をかけてしまう不安があり、避難することをためらいます

公共バスを利用し障害者手帳を提示する際、人の目が気になります

今回まとめた当事者の声はほんの一例です。障害は人によって違った特徴や個性があり、人それぞれ接し方が変わってきます。そのため、相手のことを思いやる意識が大切です。

精華町では、障害の有無にかかわらず、すべての町民が自分らしい生活を送れるよう、人格や個性が尊重され、地域の中で支えあいながら輝けるまちづくりを目指します。





相談連絡先 一覧

しょうがい ひとおよ かぞく せいかつそうだん たいおう
障害のある人及びそのご家族の生活相談などに対応す
るため、せいにかちょうやくば かしょ そうだんしえんじぎょうしょ
精華町役場のほかに、3カ所の相談支援事業所
があります。

1 相楽地域障害者生活支援センター

じゅうしょ せいにかちょうおおあざほうそのこあざさきがつぼ ばんち ほうその かん
住所 精華町大字祝園小字榊ヶ坪 26 番地 4 祝園さくら館
れんらくさき でんわ
連絡先 電話：0774-93-3936 ファクス：0774-93-3937 メール：shien@souraku.org
かいしよじかん へいじつごぜん じ ごご じ ふん
開所時間 平日午前 9 時～午後 5 時 30 分

2 相談支援事業所 Equal

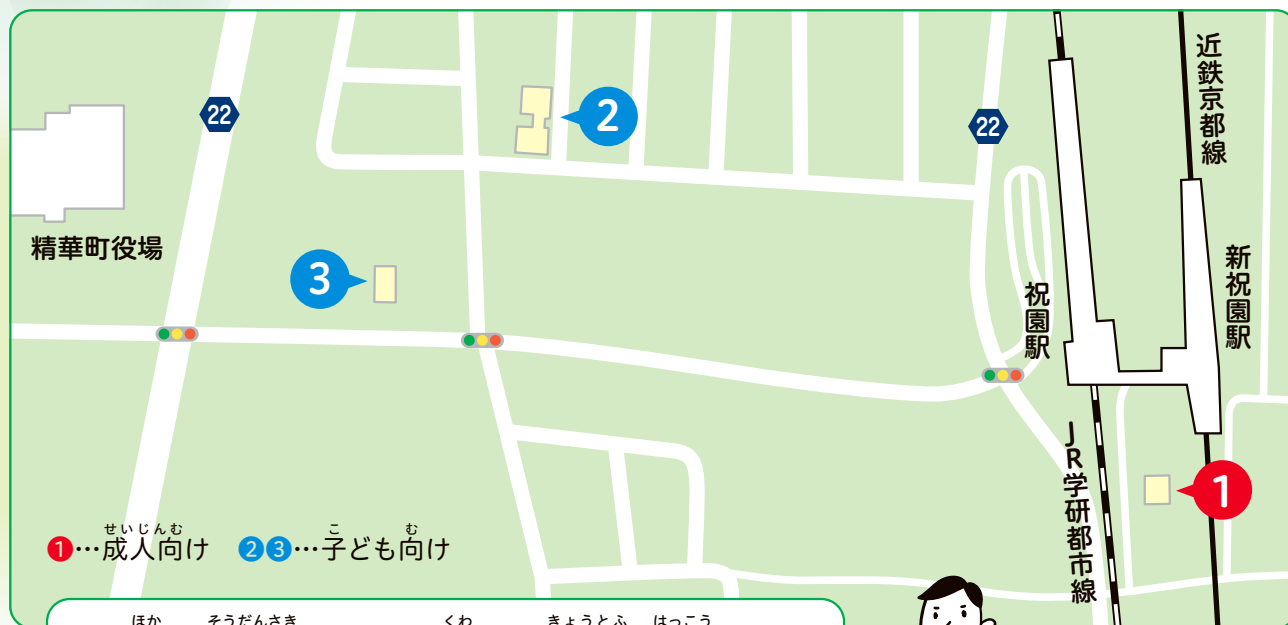
じゅうしょ せいにかちょうほうそのにしいつちようめ ばんち かい
住所 精華町祝園西一丁目 10 番地 15 エソールスクエア 2 階
れんらくさき でんわ
連絡先 電話：0774-95-5880 ファクス：0774-95-5881 メール：equal-seika@hb.tp1.jp
かいしよじかん へいじつごぜん じ ふん ごご じ ふん
開所時間 平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分

3 いろんな子どもと家族のための相談センターそら

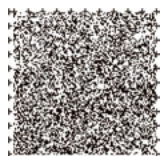
じゅうしょ せいにかちょうほうそのにしいつちようめ ばんち かい
住所 精華町祝園西一丁目 8 番地 1 ほうその共生ビル 3 階
れんらくさき でんわ
連絡先 電話：0774-93-3814 ファクス：0774-93-3826
かいしよじかん へいじつごぜん じ ごご じ ほか ようび じかんたい ちょうせいかのう
開所時間 平日午前 10 時～午後 7 時（他の曜日、時間帯も調整可能）



ライン LINE 2 次元コード



ほか そうだんさき くわ きょうとふ はっこう
その他にも相談先があります。詳しくは京都府が発行している
「しょうがいしゃふくし らん
「障害者福祉のてびき」もご覧ください。



せいにかちょうだい じ しょうがいしゃきほんけいかく せいにかちょうだい きしょうがいふくしけいかく せいにかちょうだい きしょうがいふくしけいかく
精華町第 3 次障害者基本計画 精華町第 7 期障害福祉計画・精華町第 3 期障害児福祉計画
令和 6 (2024) 年 3 月 ねん がつ せいにかちょう けんこうふくしかんきょうぶ しゃかいふくしか
〒619-0285 きょうとふそうらくんせいにかちょうおおあざみなみいなやづまこあざきたじり ばんち
電話：0774-95-1904 ファクス：0774-95-3974
でんわ